

和歌山県PRキャラクター
きいちゃんの
体験レポート



わかやま
オススメ

やすだがみ
保田紙 紙すき体験

身近に楽しめる体験などから
わかやまの自然や歴史文化を知ろう!

紀州手すき和紙 保田紙は350年以上の歴史を持ち、最盛期には400軒ほどの家々が紙すきを行っていました。繊維が太い楮を使った丈夫な紙質が特徴で、その性質から和傘の材料として重宝されましたが、昭和28年の紀州大水害や洋傘の普及により、昭和40年頃には廃絶の危機に瀕しました。

現在、保田紙は伝統技術の復興と継承を目的として造られた施設「体験交流工房わらし」で作られています。同工房では紙すきやうちわ・あんどん作りなどの体験が楽しめます。



きいちゃんインタビュー

紙すき職人の鈴木孝代さんにお聞きしました。

紙すきは非常にデリケートで、気温や配合、紙をすく力加減、すべてにおいて同じ状態のものはできないのが魅力のひとつ。昔から受け継ぐ製法で、原料もすべて手作りしています。

のんびりとした自然豊かな田舎で、オリジナル和紙を作ってみませんか。丈夫で温かみのある保田紙に触れ、郷土伝統工芸品を感じてください。



落ち葉や花びらで飾り、彩りやオリジナリティーをプラス。

保田紙を通して照らし出される柔らかな光が楽しめます。

同施設内ではわらざうり作りも体験できます。お土産にもおすすめです！体験は人数制限があるのでご相談ください。

お問い合わせは
体験交流工房わらし
有田川町清水1218-1
☎0737-25-0621



和歌山県優良県産品
プレミアム和歌山

『プレミアム和歌山』は、“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で審査し、優良な県産品を推奨する制度で、首都圏でのPRイベントの開催、商談会への出展などを通じ、認知度向上、販売促進を図っています。



推奨品は、道の駅や観光施設、百貨店、スーパーなどさまざまな場所で購入することができるほか、プレミアム和歌山公式WEBサイトからネットショップへアクセスし購入することが可能です。(一部商品を除く)

ぜひ、推奨マークがついた推奨品をお買い求めいただき、県産品の良さを感じてください。

プレミアム和歌山の冊子と映像ができました！

プレミアム和歌山のさらなる認知度向上を図るため、冊子(B5版:20P)と映像を制作しました。商品が生まれるまでの工程や生産者の思いなどを紹介しています。

冊子は近畿エリアの道の駅、市町村役場や県内主要観光施設などに設置しています。また、映像・冊子はWEBサイトからご覧になれます。ぜひご覧ください！



問：県庁企業振興課 ☎073-441-2841

プレミアム和歌山

紀州あまぎけ 初音

米糀と水のみで昔ながらの製法で作られたお米の甘みを感じていただける商品です。アルコール0%なので体に優しく、お子様にもお飲みいただけます。



株式会社紀ノ國フーズ
☎0736-63-5289

抽選で10名様にプレミアム和歌山推奨品「紀州あまぎけ 初音(180ml×3本)」をプレゼント!

3月23日(月)<消印有効>までに住所、氏名、年齢、電話番号、商品名、県民の友への感想を記入のうえ、ハガキで〒640-8585(住所不要)和歌山県広報課「プレミアム和歌山プレゼント」係へご応募ください。



※皆さんの個人情報は、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問：県庁広報課 ☎073-441-2032

人権連 ころの気づき

ご存じですか? 地域の身近な相談相手 「民生委員・児童委員」

問 県庁福祉保健総務課 ☎073-441-2476

子育てや介護など日常生活に関する不安や悩み、ご近所で気になることはありませんか。そんな時、地域住民の身近な相談相手として、適切な支援やサービスを受けるために行政や専門機関とのパイプ役を務めるのが民生委員・児童委員です。

民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、住民からの相談に応じ、その課題を解決できるような必要な援助を行うなど幅広い活動をしています。また、児童委員も兼ねているので、子供の見守りや子育てに関する相談や支援もしています。なお、一部の児童委員は、児童福祉を専門に担当する「主任児童委員」として活動しています。

民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談した方の秘密は守られますので、ご自分や、ご近所のことで何か困ったことがあれば、安心して相談してください。